

## Ⅲ 財政収支計画（令和3年度～令和6年度）

### （1）中期実施計画における財政状況

収益的収支では、水需要は減少傾向にあるものの、減少幅が中期実施計画の予測を下回っていること等から、給水収益が計画値を約7億円上回る見込みです。また、支出では支払利息の減少等から事業費が抑えられたこともあり、純利益は17億円余り計画値を上回る予定です。

資本的収支では、浄配水場施設整備事業や管路整備事業において、実施段階での工事内容の精査や契約差益が発生したこと等により、支出額が減少しました。

この結果、令和2年度末の資金残高は64億円余りとなる見込みとなりました。

### （2）後期実施計画における財政計画の概要

財政計画の策定に当たり、収入面では給水収益の積算に新たに実施した水需要予測を用いました。中期実施計画策定時に用いた水需要予測と比べ、有収水量の減少する速度が緩やかになったことから、給水収益は中期実施計画策定時の試算と比べ若干の増額となりました。

支出では、厳しい財政状況が見込まれる中、優先度を再精査するとともに、当実施計画で予定される事業・取り組みを進めて行くための事業費を積算しました。

なお、事業費の積算に当たっては、各事業の実施段階における工事内容の精査及び、契約差益の発生をある程度見込むことで、計画値の精度向上を図りました。

この結果、当実施計画期間内の純利益を確保でき、中期実施計画で見込まれていた計画期間中の資金不足は生じない見込みとなりました。

#### ①水需要予測

	令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算見込)	令和3年度 (予定)	令和4年度 (予定)	令和5年度 (予定)	令和6年度 (予定)
有収水量（千m <sup>3</sup> ）	93,617	93,485	91,732	90,766	90,023	88,824

#### ②収益的収支

（単位：百万円 消費税抜き）

		令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算見込)	令和3年度 (予定)	令和4年度 (予定)	令和5年度 (予定)	令和6年度 (予定)
収入	給水収益	13,663	13,510	13,423	13,335	13,239	13,102
	他会計負担金	124	111	104	111	111	111
	加入金	223	189	188	207	207	207
	その他の収益	2,385	2,336	2,023	1,939	1,907	1,950
	計 (A)	16,395	16,146	15,738	15,592	15,464	15,370
支出	人件費	2,329	2,331	2,301	2,355	2,334	2,314
	受水費	428	426	423	422	421	420
	修繕費	1,230	1,296	1,398	1,530	1,393	1,466
	委託料	2,029	1,964	2,166	2,072	2,099	2,166
	減価償却費	5,551	5,795	5,922	6,035	6,101	6,215
	企業債利息	711	653	619	575	555	543
	物件費等	2,277	2,271	1,860	1,818	1,874	1,908
	計 (B)	14,555	14,736	14,689	14,807	14,777	15,032
収支	純利益 (A - B)	1,840	1,410	1,049	785	687	338

# Ⅲ 財政収支計画（令和3年度～令和6年度）

## ③資本的収支※

（単位：百万円 消費税抜き）

		令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算見込)	令和3年度 (予定)	令和4年度 (予定)	令和5年度 (予定)	令和6年度 (予定)
収入	企業債	3,663	3,910	3,492	4,185	4,941	3,918
	国庫補助金	331	427	336	346	360	354
	工事負担金・出資金等	579	456	690	887	696	585
	計 (C)	4,573	4,793	4,518	5,418	5,997	4,857
支出	企業債償還金	2,732	3,129	3,229	3,421	3,500	3,431
	浄配水場施設整備費	2,094	1,329	1,151	2,208	3,147	1,973
	管路整備費	5,676	6,934	6,717	6,363	6,166	5,958
	水道メーター購入費等	221	363	352	335	345	379
	計 (D)	10,723	11,755	11,449	12,327	13,158	11,741
収支	資本的収支不足額 E = (C - D)	▲ 6,150	▲ 6,962	▲ 6,931	▲ 6,909	▲ 7,161	▲ 6,884

## ④財源の状況※

（単位：百万円）

	令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算見込)	令和3年度 (予定)	令和4年度 (予定)	令和5年度 (予定)	令和6年度 (予定)
資本的収支過不足額に 対する当年度補てん可能額 (F)	13,106	13,410	12,555	11,470	10,376	8,799
当年度末資金残 (E + F)	6,956	6,448	5,624	4,561	3,215	1,915

## ⑤企業債残高の状況※

（単位：百万円）

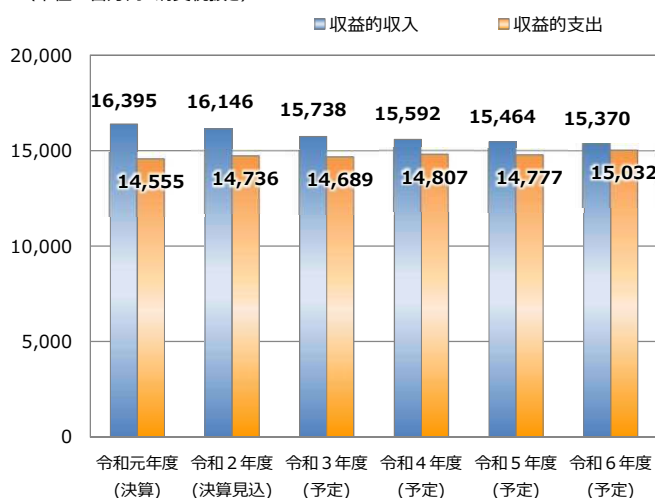
	令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算見込)	令和3年度 (予定)	令和4年度 (予定)	令和5年度 (予定)	令和6年度 (予定)
企業債残高	48,421	49,202	49,465	50,230	51,671	52,158

※令和3年度以降は各年度繰越を考慮したものとっています。

## ●収益的収入・支出および資本的収入・支出

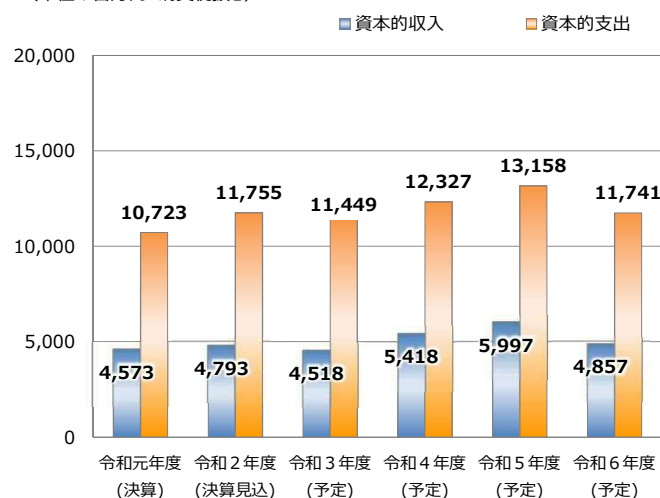
### ①収益的収入・支出

（単位：百万円 消費税抜き）



### ②資本的収入・支出

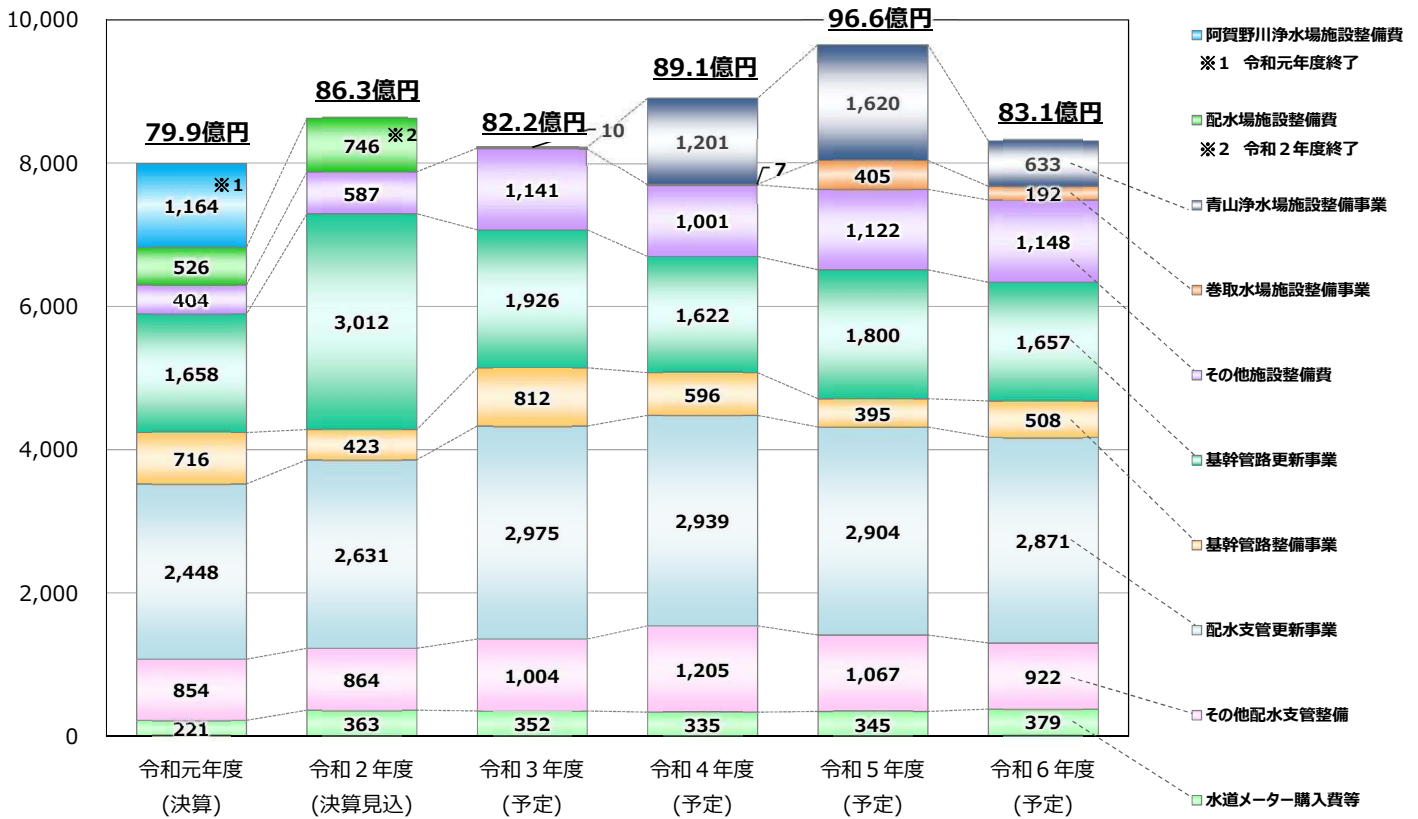
（単位：百万円 消費税抜き）



# Ⅲ 財政収支計画（令和3年度～令和6年度）

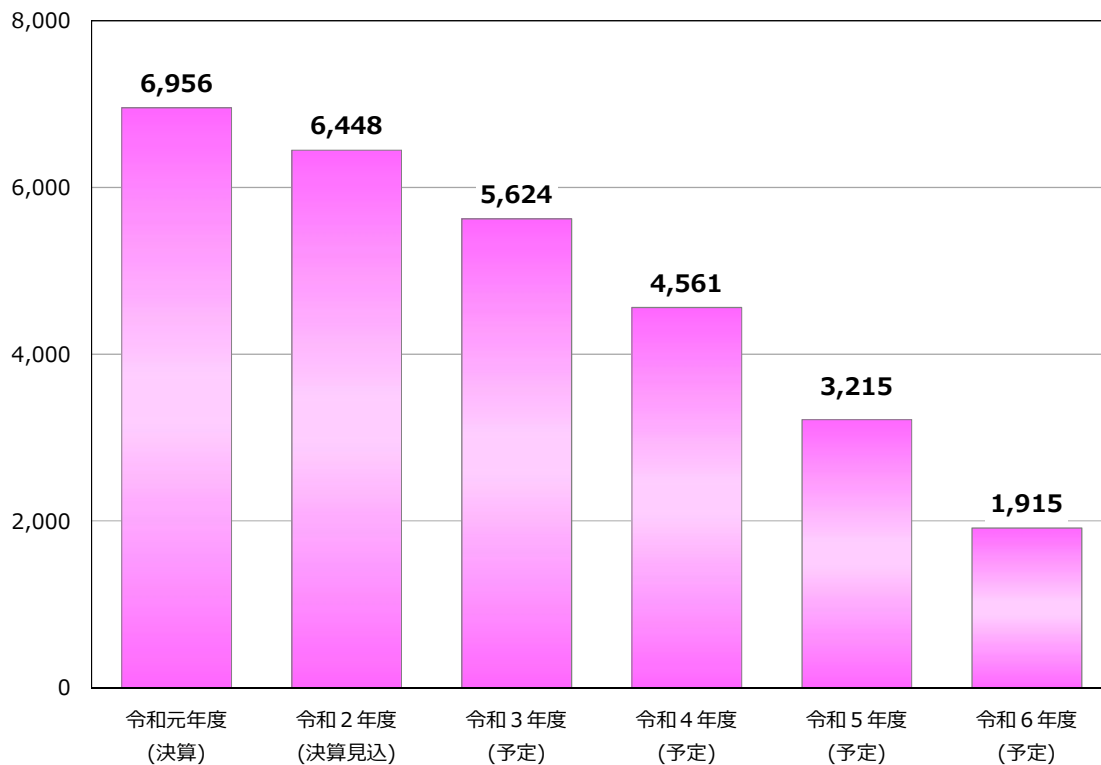
## ● 主な建設改良費の内訳

（単位：百万円 消費税抜き）



## ● 年度末資金残見込み

（単位：百万円）

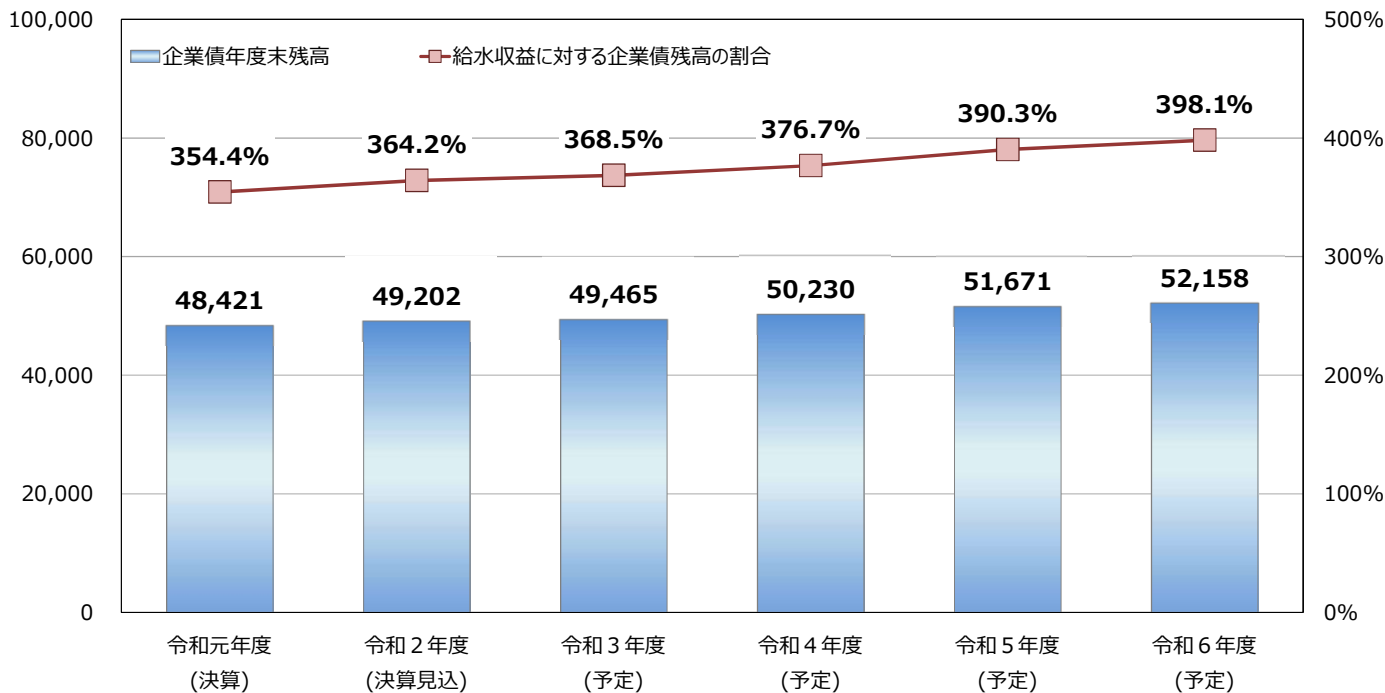


# Ⅲ 財政収支計画（令和3年度～令和6年度）

## ● 企業債年度末残高及び給水収益に対する企業債残高の割合見込

企業債年度末残高（単位：百万円）

給水収益に対する企業債残高の割合（%）



### （3）財政収支における課題

・計画期間中の純損失及び資金不足は生じない見込みとなりましたが、給水収益が減少を続ける一方で、老朽管路や浄配水場施設の更新や耐震化のために継続して多くの経費が必要となっていく状況に変わりはなく、今後更に深刻さが増していきます。現在の料金体系や企業債の借入水準を維持した場合、令和7年度からの次期マスタープランでは純損失に転じ、資金不足となることが懸念されます。

・次期マスタープランでの投資財源を確保するため、業務改革や徹底した経費削減に努め支出を抑制するとともに、収入確保に向けた料金改定の検討を進める必要があります。

・企業債の活用は重要な資金調達の手段であるものの、今後の人口減少を考慮すると、更新投資に必要な財源の多くを企業債の借入れに求めることは、将来世代の過度な負担に繋がることから、借入水準について財政規模や社会情勢に鑑み十分に検討する必要があります。